



笑

顔の理由



エコパークの整備に携わっている会員たちは
ボランティアなのに活動中はいつも笑顔が絶えない
実に楽しそうだ
その理由とは何なのか

活動の原点は 港に対する愛情

12月4日、日曜日というのに、10人以上の会員が参加し活動が実施された。会員は、花の写真や花の特徴が書かれた紙を、談笑しながら看板となる木に貼り付けていた。

エコクラブは、毎月第3日曜日が活動日。それ以外でも参加できる人は、自主的に作業に取り組んでいる。

会員の一人、藪田美千代さんは「私は、生まれも育ちも御前崎でね、ずっと港が身近にあったんです。しかも、父も夫も漁業関係者。余計と港に対する思い入れが強いんですよ。以前、ここへ子どもを



連れてきたのですが、港の近くがこんなに荒れているのかとがっかりしたんです。そんな時にエコクラブの活動を知りました。自分の大好きな場所だから、何とかきれいにしたいくてね、作業に携わろうと思ったんです」と話す。

エコパークをきれいにしたいと活動に取り組んでいる

やぶ た み ち よ
藪田美千代さん(広沢区)